

平成25年度水道事業の運営状況について



水道事業は、皆さんからお支払い頂いた料金をもとに、水道供給を行っています。平成25年度の決算状況についてお知らせいたします。



(1) 収益的収支 (税抜き)

水道水をつくり、ご家庭にお届けするための収入と支出です。

◆収入

2億2,715万円

| |
|------------------------------------|
| 当年度純損失 5,891万円 |
| 水道料金 (家事用) 1億583万円 46.6% |
| 水道料金 (家事用以外) 1億1,476万円 50.5% |
| その他 656万円 2.9% |

◆支出

2億8,606万円

| |
|-----------------------------|
| 物件費 4,850万円 17.0% |
| 人件費等 2,862万円 10.0% |
| 支払利息 3,456万円 12.1% |
| その他 326万円 1.1% |
| 減価償却費 1億7,112万円 59.8% |

- ・前年度に比べ、**340万円ほどの経費削減**となりましたが、**赤字***となりました。
- ・減価償却費は「実際にお金を支払わない費用」であり、内部留保資金となり企業債(借金)の元金の返済として使われます。

(2) 資本的収支 (税抜き)

水道施設を建設・改良するために必要な収入と支出です。

◆収入

1億477万円

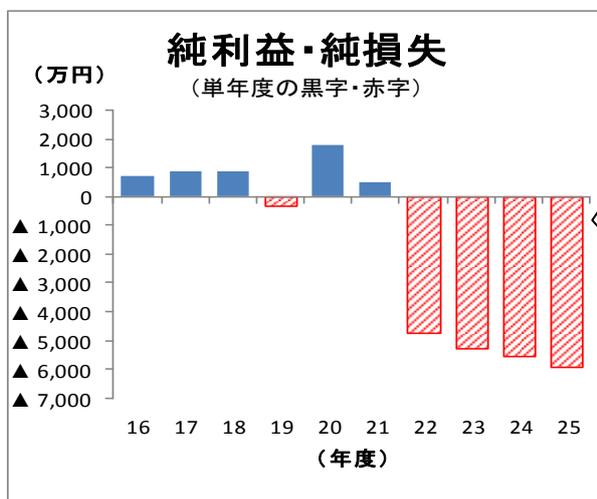
| |
|-------------------------|
| 損益勘定留保資金等 1億2,528万円 |
| 企業債 5,520万円 52.7% |
| その他 4,957万円 47.3% |

◆支出

2億3,005万円

| |
|------------------------------|
| 建設改良費 9,631万円 41.9% |
| 企業債償還金 1億3,374万円 58.1% |

- 物件費** 委託料、修繕費、光熱費、物品購入費など
- 支払利息** 企業債償還金(借金)の利息
- 減価償却費** 経年劣化により減少した資産の価値を補填する経費
- 企業債(償還金)** 借りたお金(返すお金)
返済残高は28億9,492万円です。
- 建設改良費** 老朽管更新工事、配水管新設工事、メータ器取替え工事の費用



Q. なぜ『赤字*』なの？

- ①水道利用者数が減少**
10年間で800人ほど減っています。
- ②料金収入が減少**
平成19年度に+20%の料金改定を行いました。『利用者数の減少』により、改定前の水準に戻りつつあります。また、他の要因として、『節水』『景気の落ち込み』などがあります。
- ③物価の上昇**
燃料費や電気料金が上昇しています。

(3) 貸借対照表

貸借対照表とは、企業がどのように資金を集め事業をしているかを表すものです。

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|------------------------|------------|-------------------------|------------|
| 1. 固定資産 | 39億7,364万円 | 1. 流動負債（未払金） | 1,288万円 |
| ・土地 | 7,339万円 | 負債合計 1,288万円 | |
| ・建物・構築物 | 8億1,215万円 | 資本の部 | |
| ・配水管等 | 23億3,278万円 | 1. 資本金 | 42億5,469万円 |
| ・機械・器具等 | 7億5,532万円 | ・自己資本金 | 13億5,977万円 |
| 2. 流動資産 | 1億9,872万円 | ・借入金（企業債） ^{*1} | 28億9,492万円 |
| ・現金・預金 | 1億8,710万円 | 2. 利益剰余金 | ▲9,521万円 |
| ・未収金 | 1,162万円 | ・積立金 | 3,195万円 |
| | | ・利益剰余金（累積赤字） | ▲1億2,716万円 |
| 資産合計 41億7,236万円 | | 資本合計 41億5,948万円 | |

^{*1}借入金（企業債）は、国の制度改正により、平成26年度会計から「負債の部」に変更となります。

※ 経営上赤字ですが、預金等により、資金不足となっていません。

しかし、平成20年の料金改定時においては、「次の料金改定は平成26年度以降」との計画のもと料金改定を行ったことから、数年内に資金不足になる危険性が高まっています。

▼過去6年の推移

| | 単位 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | 類似団体 | | |
|----|-----------|------------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---|
| 1 | 給水人口 | 人 | 11,330 | 11,240 | 11,130 | 11,045 | 10,961 | 10,804 | — | |
| 2 | 収入(収益的) | 万円 | 2億4,939 | 2億4,126 | 2億4,507 | 2億3,869 | 2億3,423 | 2億2,715 | — | |
| 3 | 支出(収益的) | 万円 | 2億3,156 | 2億3,626 | 2億9,245 | 2億9,130 | 2億8,952 | 2億8,606 | — | |
| | 職員給与比 | % | 13.86 | 12.13 | 9.42 | 9.23 | 8.37 | 8.32 | 13.75 | |
| 4 | 純利益(純損失) | 万円 | 1,783 | 500 | ▲4,738 | ▲5,261 | ▲5,529 | ▲5,891 | — | |
| 5 | 収支比率 | % | 107.70 | 102.12 | 83.80 | 81.94 | 80.90 | 79.41 | 108.21 | |
| 6 | 利益剰余金(累計) | 万円 | 1億2,593 | 1億1,899 | 7,160 | 1,898 | ▲3,630 | ▲9,521 | — | |
| 7 | 企業債 | 借りたお金 | 万円 | 7億5,220 | 5億8,400 | 2億7,770 | 6,090 | 1億0,040 | 5,520 | — |
| | | 返したお金 | 万円 | 6,705 | 6,853 | 9,249 | 11,851 | 15,243 | 13,375 | — |
| | | 残高 | 万円 | 23億8,243 | 28億9,789 | 30億8,310 | 30億2,550 | 29億7,347 | 28億9,492 | — |
| 10 | 建設改良費 | 万円 | 8億5,297 | 7億0,235 | 3億7,235 | 1億1,684 | 1億1,036 | 9,631 | — | |
| 11 | 預金 | 万円 | 2億0,260 | 2億0,343 | 1億8,673 | 1億9,293 | 1億9,601 | 1億8,710 | — | |
| 12 | 未収金 | 万円 | 5,115 | 4,405 | 2,500 | 1,529 | 1,316 | 1,162 | — | |
| 13 | 給水原価 | 円/m ³ | 134.35 | 145.58 | 179.35 | 183.32 | 185.00 | 188.39 | 170.95 | |
| 14 | 供給単価 | 円/m ³ | 142.09 | 146.03 | 146.00 | 145.47 | 145.10 | 145.28 | 165.42 | |

【説明】

類似団体 → 日本水道協会が作成した、類似団体と比較・検討するための指標です。

1・2 → 人口の減少に伴い、料金収入も減っています。

3 → 支出に占める職員給与の割合は年々下がっており、類似団体と比べ低くなっています。

6 → 利益を積み立てたお金です。平成24年度から赤字になりました。他の留保金により資金不足には陥っていないものの、事業継続のため赤字解消が急務です。

7～9 → 借金です。返済のピークは平成30年度の予定です。

10 → 老朽管やメータ器の更新など、最低限の工事のみを行い、借入の圧縮に努めています。

11 → 預金が年々減っています。このままでは、預金が底をつく危険があります。

12 → 料金などの滞納です。年々減っています。

13・14 → 水道水の給水原価（製造コスト）と供給単価（販売単価）です。販売単価が製造コストを上回ると正常ですが、平成22年度より逆転しています。また、販売単価は類似団体より低く、赤字の要因になっています。

